

事務事業マネジメントシート

【 評価年度： 令和 7 年度 】

事務事業の概要・基本情報

事務事業名	新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業			会計区分	1	一般会計			所管部署	健康増進課		
				予算科目	4	款	1	項	3	目	衛生費	
事業番号	2110			事業区分	政策的事業【義務】							
評価の種別	□ 詳細評価			簡易評価（事業の概要・結果のみ）								
総合計画での位置づけ	基本目標	健康福祉都市の創造										
	基本施策	生涯にわたる健康づくり										
根拠法令等	予防接種法											
関係する計画等	新型インフルエンザ等対策行動計画											
事業の目的【ゴール】	対象	生後6か月以上の全市民										
目指すべき姿を簡潔に	意図	新型コロナウイルスワクチンの接種を希望する市民が円滑に接種できる体制を整えることで、新型コロナウイルス感染症の発症及び重症化を予防し、感染症のまん延防止を図り、市民が健康な生活を送ることができる。										
事業内容【アクティビティ】	予防接種法第6条第1項の規定に基づき、新型コロナウイルスワクチンを臨時接種とみなし、接種を希望する市民全員が接種できるよう人的体制の整備、予防接種台帳等のシステム改修、市民への周知・相談体制の確保、接種の実施体制の確保を行う。保健センターを会場とする集団接種と医療機関での個別接種を実施する。なお、令和6年度以降は、新型コロナウイルス感染症は予防接種法のB類疾病と位置付けられ、定期接種に移行した。令和6年度繰越分については、集団接種等の臨時接種の業務整理による事業費である。											
具体的な内容、どのような方法で実施しているのか												
事業の実施方法	□ 直営	□ 一部委託	□ 全部委託	□ 指定管理	□ 補助金・負担金等	□ その他	()					
本事業とSDGs (持続可能な開発目標)との関連性	□ ゴール1	貧困をなくそう			□ ゴール7	エネルギーをみんなにそしてクリーンに			□ ゴール13	気候変動に具体的な対策を		
	□ ゴール2	飢餓をゼロに			□ ゴール8	働きがいも経済成長も			□ ゴール14	海の豊かさを守ろう		
	□ ゴール3	すべての人に健康と福祉を			□ ゴール9	産業と技術革新の基盤をつくろう			□ ゴール15	陸の豊かさを守ろう		
	□ ゴール4	質の高い教育をみんなに			□ ゴール10	人や国の不平等をなくそう			□ ゴール16	平和と公正をすべての人に		
	□ ゴール5	ジェンダー平等を実現しよう			□ ゴール11	住み続けられるまちづくりを			□ ゴール17	パートナーシップで目標を達成しよう		
	□ ゴール6	安全な水とトイレを世界中に			□ ゴール12	つくる責任つかう責任						

前回評価の振り返り

評価年度 令和 4 年度	事業遂行に係る課題・改善点	課題解決に向けた具体的な方策等	左記に対する対応状況
最終判断	接種対象者によって接種回数や時期が変わるため、間違い接種の無いよう周知啓発に努める必要がある。市内に小児科が無いため、時間・場所など接種機会の選択肢が限られている。 コールセンターの委託内容や経費の精査。	春・秋接種でチラシを分けて周知した。接種予約が集中し医療機関が混乱しないよう段階的に接種券を送付するとともに、前回接種からの接種間隔を確認し接種券を交付した。令和5年度に小児科の開業が見込まれることから協力を仰いだ。 接種券送付状況によりコールセンターの人員を増減する。	新規小児科の接種体制が整い、接種希望者に合わせたスケジュールで接種できるようになった。 接種券の送付直後はコールセンタースタッフを増やし、閑散期には減らすなど状況により調節した。
重点化			

事業活動への投入コスト・人員【インプット】

予算額・執行額及び財源内訳（千円）						事業費の内訳							
項 目		R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R - 要求	例 年 支 出 の あ る も の 臨 時 的 な も の	節	細節	事業費（千円）				摘 要 ※代表的なものを簡潔に
予 算	当 初 予 算	225,585	17,280	0					R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	R - 要求	
	補 正 予 算	56,494	223,355	0			報酬	会計年度任用職員報酬	137	2,238	0		会計年度任用職員報酬
	前年度から繰越	0	0	20,000			職員手当等		4,396	2,801	0		集団接種に係る職員時間外手当
	予 備 費 等	0	0	0			報償費		17,282	4,926	0		集団接種の医師・看護師報償費
	計	282,079	240,635	20,000	0		旅費		0	120	0		会計年度任用職員通勤手当
決 算	執 行 額	243,980	119,563	269			需用費		6,428	6,762	0		接種券等印刷製本費
	翌年度へ繰越	0	20,000	0			役務費		10,533	7,059	19		接種券郵送料
財 源 内 訳	国庫支出金	201,456	105,952	269			委託料		148,710	82,126	250		接種業務・コールセンター・予約システム等
	県 支 出 金	0	0	0			補償補填及び賠償金		56,494	13,531	0		国庫負担金・国庫補助金の返還金
	地 方 債	0	0	0									
	そ の 他	611	80	0									
	一 般 財 源	41,913	13,531	0									
	執行率（％）	86.5%	54.2%	1.3%									
	当初予算＋補正予算に 対する執行額の割合（％）	86.5%	49.7%	#DIV/0!									
正規職員の人工数		1.70	2.25	0.10									
1人工当たりの人件費単価		7,794	7,765	7,895		上記以外の事業費合計							一般事務費、上記で書き表せないもの
※ 執行額＋人件費		257,230	137,034	1,059		事業費の総計			243,980	119,563	269	0	

事業活動の実績【アウトプット】

活 動 指 標	項 目		単位	目指す方向性	R 4 実績	R 5 実績	R 6 実績	事業遂行に係る工夫点・事業成果	接種予約状況を確認しながら予約枠を調整し、接種希望者が速やかに接種できるようにした。接種回数やワクチン株に応じて予診票等の色を変えるなど、間違い接種防止を工夫した。集団での小児接種では、小児科医の協力や保護者の同伴が得やすい平日の夕方に接種を行う等配慮した。接種希望者が速やかに接種できる体制を構築でき、特に高齢者においては高い接種率を維持できた。
	指標①	集団接種回数	回	■	87	27	—		
	指標②	集団接種者数	人	■	16,342	5,151	—	事業遂行に係る課題・改善点	小児科医が少なく、多くの接種枠を設けることが出来なかった。
	指標③	個別接種者数	人	■	28,104	14,040	—		
	指標④							課題解決に向けた方策等	令和和5年度に市内に開業した小児科に協力を依頼し、子どもの体調に合わせた接種スケジュールで接種できるようになった。

※ 目指す方向性が「－」の指標は、「事業把握のための実数」が入力されています。